

2018 国際博物館の日 International Museum Day 記念シンポジウム

共通テーマ：

新次元の博物館のつながり
— 新たなアプローチ、新たな出会い —
Hyperconnected museums: New approaches, new publics

同時通訳つき

無料

事前申込不要

当日先着順

(定員250名)

日時：2018年5月19日(土) 13:30～17:00

会場：大阪歴史博物館4階講堂

(大阪市中央区大手前4-1-32)

主催 日本博物館協会、ICOM日本委員会、ICOM京都大会2019組織委員会

共催 文部科学省、ICOMシンガポール国内委員会

後援 大阪市、大阪市博物館協会、関西博物館連盟、全日本博物館学会、日本展示学会、日本ミュージアム・マネジメント学会

2018 国際博物館の日 記念シンポジウム

International Museum Day

■趣旨

毎年5月18日は、ICOM(国際博物館会議)が定めた「国際博物館の日」です。今年の世界共通テーマ「新次元の博物館のつながりー新たなアプローチ、新たな出会いー」(Hyperconnected museums: New approaches, new publics)。これを記念し日本博物館協会とICOM日本委員会が主催し、文部科学省の共催のもと、多くの博物館が参画してさまざまな記念行事が実施されます。その一環として、2019年9月に京都で開催されるICOM京都大会に向けて、海外から第一線の博物館関係者を招き、国際シンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、諸外国の事例紹介を参考にしながら、どのように日本の博物館振興を図っていくべきかを議論するとともに、共通テーマに関連して、専門家の意見も踏まえ、将来の博物館像について考えます。

■参加方法

参加費は無料、事前申込は不要、先着順です。大阪歴史博物館4階講堂までお越しください。(定員は250名)

<ICOM(国際博物館会議)>

世界141の国と地域から、博物館関係者約3万7千人が会員として参加する、博物館の進歩発展を目指す国際的な非政府機関。本部はパリにあり、専門分野別に組織された30の国際委員会を中心に、国際的観点から博物館を取りまくさまざまな課題に取り組んでいる。

<本件に関する問い合わせ先>

ICOM京都大会準備室

e-mail: office@icomkyoto2019.kyoto

tel: 075-561-2127

■プログラム(予定) 2018年5月19日(土) 大阪歴史博物館講堂(4階) ※同時通訳が付きま

13:30-13:40 開会あいさつ

13:40-14:10 基調講演Ⅰ Terry Simioti Nyambe (ICOM執行役員、ザンビア)

14:10-14:40 基調講演Ⅱ Jose Alberto Ribeiro (ICOMポルトガル国内委員長)

14:40-15:10 基調講演Ⅲ Alvin Tan Tze Ee (ICOMシンガポール国内委員長代理)

15:10-15:20 休憩

15:20-15:35 ICOM京都大会準備状況説明

栗原 祐司 (ICOM京都大会運営委員長、京都国立博物館副館長)

15:35-16:55 パネル・ディスカッション

コーディネーター 本間 浩一 (慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所研究員)

パネラー 佐久間 大輔 (大阪市立自然史博物館学芸課長代理)

土屋 隆英 (森美術館企画グループ課長 インターナショナル・プログラム・マネジャー)

鬼頭 智美 (東京国立博物館広報室長)

16:55-17:00 閉会あいさつ



〒540-0008
大阪市中央区大手前4丁目1-32
TEL: 06-6946-5728
大阪メトロ 谷町線・中央線
「谷町四丁目駅」2号・9号出口
大阪市営バス「馬場町」バス停前

国際博物館会議 京都大会
ICOM
KYOTO 2019

ICOM 京都大会 2019 に参加しよう!

どこかの国の学芸員が、あなたの博物館と同じ課題に取り組んでいるかもしれません。

自分たちの活動を紹介し海外の研究者と交流することで、これまでは気づかなかった新しい見かたや、発見があるかもしれません。

博物館をつなぐ、地域や社会をつなぐ、世界をつなぐ、世代をつなぐ、過去と未来をつなぐ...

文化のつなぎ役としての「ミュージアム」の可能性を、世界各国の博物館関係者と一緒に考えてみませんか?

大会テーマ

文化をつなぐミュージアム ー伝統を未来へー MUSEUMS AS CULTURAL HUBS : THE FUTURE OF TRADITION

博物館が伝統的な文化を活かしながら豊かな未来を創造する文化的な拠点として新たな機能を創出し、社会的な役割を果たすために何ができるのか、何をすべきなのかを考えます。

1. 国際的課題と博物館

災害や紛争、グローバル化、高齢化など、近年の世界規模の課題に、博物館はどのように貢献できるか?

2. 地域コミュニティと博物館

都市や地域社会のなかで、博物館がどのような役割を果たすことができるのか? どのような可能性が秘められているのか?

3. 博物館の定義と制度

これからの博物館や学芸員はどうあるべきか? その理念や特性を実現できる博物館・学芸員の制度とは?

- いつ? 2019年9月1日(日)ー9月7日(土)の7日間
- どこで? 国立京都国際会館(メイン会場)、京都府・市内の博物館や文化施設、大学など
- 誰が? 会員でなくても誰でも参加できます。
- 参加申込は? 2018年11月頃にICOM京都大会HP上で参加募集を開始します。
- 参加費は? 2018年秋頃に決定予定。大会HPでお知らせします。ICOM会員・非会員・学生、申込時期によって料金が異なります。
※ 前回のミラノ大会では、会期フル参加で約4万5千円(早割: ICOM会員)でした。京都大会では、日本の皆さまが参加しやすい1日券や学生割引も設ける予定です。
- 発表募集は? 2018年秋頃から、各委員会のHP上で募集します。大会HPでも情報を公開します。
- ボランティアは? 学生ボランティアと京都市周辺在住の市民ボランティアを予定しています。2018年秋頃から大会HPで募集します。
- 詳しくはWebで <http://icom-kyoto-2019.org/jp>